

史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会（第25期・第1回）
議事要旨

日時：2021年1月26日（火） 13時～15時

会場：オンライン開催

出席者：福永伸哉、芳賀満、菊地芳朗、松本直子、臼杵勲、内山幸子、恵谷浩子、大久保徹也、
佐藤宏之、佐藤義明、瀬谷愛、辻田淳一郎、林部均、松田陽、宮路淳子（以上15名）

欠席者：奥村弘

書記担当：芳賀満

配付資料：

- ・「提言 歴史学・考古学における学術資料の質の維持・向上のために－発掘調査のあり方を中心に－平成23年(2011年)8月3日 日本学術会議 史学委員会 文化財の保護と活用に関する分科会」
- ・「提言 文化財の次世代への確かな継承－災害を前提とした保護対策の構築をめざして－平成26年(2014年)6月24日 日本学術会議 史学委員会 文化財の保護と活用に関する分科会」
- ・「提言 持続的な文化財保護のために－特に埋蔵文化財における喫緊の課題－平成29年(2017年)8月31日 日本学術会議 史学委員会 文化財の保護と活用に関する分科会」
- ・「記録 文書番号：SCJ 第24期-020904-24340600-026 委員会等名：史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会 標題：文化財保護の将来像－文化財保護法改正と文化財防災について－作成日：令和2年(2020年)9月4日」

議題

1. 本分科会の沿革および第24期の活動

第24期の福永伸哉委員長および他の継続委員により、配付資料を踏まえつつ、本分科会の沿革および第24期から残された課題について説明があった。

2. 役員を選出

委員長に福永伸哉、副委員長に芳賀満、幹事に菊地芳朗、松本直子を選出した。

3. 25期の活動方針について

第24期からの課題である文化財保護法改正と文化財防災とその現状について意見交換と情報共有を行った。それらを踏まえてさらに今期の活動方針について全員で協議した。新たな論点も検討して、提言として結実させることが了承された。今後はさらに各委員からの多様な論点の提起により議論を深め、1年後を目処に提言の方針を決めてゆく。

4. 次回分科会

委員長から2021年度内に1回開催することが提案され、了承された。

5. 幹事会からの依頼への対応

今期幹事会から2月に回答が求められている「第25期の分野別委員会、分科会等の活動について(お願い)」は、各委員からの意見を役員がとりまとめる。

6. その他

メールアドレスの共有およびメーリングリストを設定することが確認された。

以上